

## 日本情報科教育学会第12回全国大会を終えて

実行委員長 浅羽修丈（北九州市立大学）

日本情報科教育学会（JAEIS）第12回全国大会を、「初等・中等・高等教育をつなぐ新しい情報科教育の構築」のテーマのもとで、北九州市立大学 北方キャンパスを会場として、7月20日（土）・21日（日）の2日間にわたり開催させていただきました。

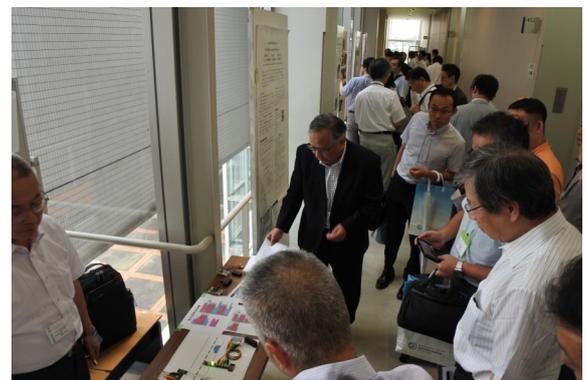
小学校では2020年度、中学校では2021年度、高等学校では2022年度から新学習指導要領が順次適用され、情報活用能力（情報モラルを含む）が言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」として位置付けられます。2024年度には、大学入学共通テストにおいて情報科が新科目として出題される方針も出されています。情報科教育が新しい時代を迎えようとしている今だからこそ、初等・中等・高等教育機関が連携して、新しい情報科教育を構築していくことが求められます。本大会では、各教育機関の教科等の“横断的な視点”からの連携だけでなく、初等・中等・高等教育機関をつなぐ“縦断的な視点”からの連携を目指しました。



メイン会場の様子

文部科学省，経済産業省，総務省，北九州市教育委員会，福岡県教育委員会からのご後援，北九州市や公益財団法人 北九州観光コンベンション協会，関係学会・研究会など9団体からのご協賛に加え，8社の企業からの展示・広告をいただきました。大会の発展にご支援・ご協力いただきましたこと，深く御礼申し上げます。

本大会の2日間で、139名の方々からご参加をいただきました。プログラムにおきましては、基調講演



ポスター・デモ発表の様子

## 本号目次

第12回全国大会を終えて	1	告知 研究会・各支部	5
報告 第12回全国大会	3	事務局からの連絡	6
報告 総会及び活動報告	5		

## 全国大会を終えて

1件、特別講演2件、ワークショップ5件、招待講演2件、パネルディスカッション1件、口頭発表38件、ポスター発表10件、デモンストレーション発表2件のご登壇をいただきました。ご登壇いただいた皆さまだけでなく、各テーマについて議論に参加していただいた皆さまに、深く御礼申し上げます。

大会初日には、口頭発表、基調講演と特別講演、ポスター発表、デモンストレーション発表が行われました。

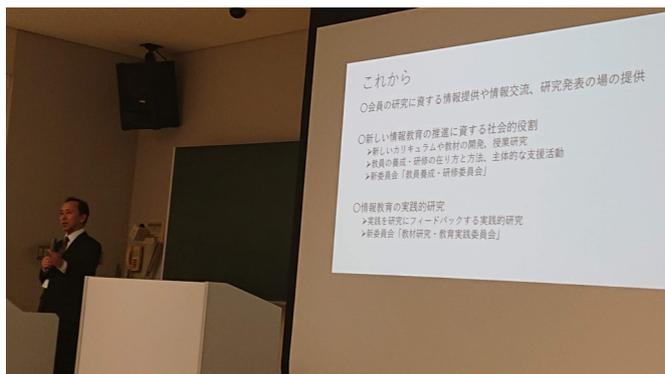
基調講演では、西野和典先生（日本情報科教育学会 会長，九州工業大学 教授）から「情報科教育と本学会のこれから」という題目でご講演をいただきました。日本の情報教育の変遷と情報科の設置という歴史的な動きから、新しい情報教育の動向に至るまでを解説された後、本学会が目指すべき方向性についてご講演いただきました。

特別講演では、「初等・中等・高等教育の連携とその構築に向けて」というテーマのもと、兼宗進先生（大阪電気通信大学 教授）と布施泉先生（北海道大学 教授）にご登壇いただきました。兼宗先生からは「初等教育と中等教育におけるプログラミング教育の連携」について、布施先生からは「中等教育と高等教育における情報教育の連携と構築」についてご講演をいただきました。

大会2日目には、口頭発表、ワークショップ、招待講演、パネルディスカッションが行われました。ワークショップでは、はじめての試みとして、協賛団体や展示企業、広告企業から企画を公募しました。他にも、NPO法人や高等学校教諭、教育研修所からも企画をいただき、5つのテーマに分けて実施されました。情報教育に関する教材や教育環境、教育手法など、それぞれの企画者の強みが活かされたワークショップになりました。

続いての招待講演では、折笠史典様（文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 室長）と鹿野利春様（国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官ほか）にご登壇いただきました。折笠様からは、「教育の情報化の最新動向と今後の展望」という題目の下、情報活用能力の育成に必要な学校現場におけるICT環境の整備やICTの利活用についての課題と、その課題に対する政府の政策決定などについてご講演いただきました。鹿野様からは、「情報Ⅰ、情報Ⅱの実施に向けて」という題目の下、「情報Ⅰ」と「情報Ⅱ」の内容と実施までのスケジュールについて俯瞰しつつ、行うべき準備についてご講演いただきました。

本大会の最後のプログラムとして、「プログラミング教育の“横のつながり” ～学校教育機関-民間企業-教育研究機関～」というテーマでパネルディスカッションが実施されました。司会進行役に森本康彦先生（東京学芸大学 教授）をお招きし、パネリストとして、尾崎拓郎先生（大阪教育大学 講師）、小澤慶太郎様（株式会社イーケイジャパン 代表取締役社長）、中村俊介様（株式会社しくみデザイン 代表取締役）、山下裕司先生（山口県立岩国



基調講演の様子

## 全国大会を終えて

高等学校 教諭) の4名にご登壇いただきました。各パネリストの立場においてご経験なさってきた学校教育機関と民間企業、民間企業と教育研究機関、そして、教育研究機関と学校教育機関の連携についてお話をいただいた後、どうすれば連携を深めることができるかについてご講演いただきました。そして、司会進行のもと、本大会のキーワードである“連携”を有機的に進めていくための提案や課題、要件などについて議論が展開されました。

本大会の基調講演、特別講演、ワークショップ、招待講演、パネルディスカッション、研究発表を通して、初等・中等・高等教育をつなぐ新しい情報科教育の構築に関する議論が深まったように感じています。日本の情報科教育が新しい時代を迎えようとしている中、各教育機関は多くの問題や悩み、不安を抱えています。同時に、強みも持っています。それらを共有し、有機的につながって“連携”していくことが、新しい情報科教育を前に推し進める原動力になると確信しています。本大会をきっかけに、“連携”がより広く、深くなることで、新しい情報科教育の構築が促進されていくことを期待しています。

最後になりましたが、本大会の運営に多大な尽力を賜りました皆さま方に、本紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

## 報告 第12回全国大会

### 第12回全国大会プログラム

#### ○ 第1日：2019年7月20日（土）

- |             |  |
|-------------|--|
| 9:30～10:45  | 研究発表1：口頭発表   |
| 10:55～12:10 | 研究発表2：口頭発表   |
| 12:10～13:20 | 昼休み（理事会・評議会）   |
| 13:20～13:50 | 総会   |
| 14:00～14:10 | 開催校挨拶  |
| 14:10～14:40 | 基調講演：西野和典（日本情報科教育学会 会長・九州工業大学 教授）<br>「情報科教育と本学会のこれから」              |
| 14:40～15:40 | 企業ブリーフィング&企業展示見学   |
| 15:40～16:40 | 特別講演：兼宗進（大阪電気通信大学 教授）<br>布施泉（北海道大学 教授）<br>「初等・中等・高等教育の連携とその構築に向けて」 |
| 16:40～17:40 | デモ発表（コアタイム）・ポスター発表（コアタイム）  |
| 19:00～21:00 | 懇親会（AJO ～アジョ～ Restaurant & Bar）                                    |

○ 第2日：2019年7月21日（日）

- 9:30～10:45 研究発表3：口頭発表
- 10:50～11:50 ワークショップ
- ・ micro:bitで学ぶプログラミング～ブロック型, JavaScript, MicroPython～
  - ・ Scratchで始めるゲームプログラミング入門
  - ・ NHK番組で生徒の心を動かす
  - ・ プログラミング教育：パソコンを使う教材と使わない教材を両方体験できる  
ワークショップ
  - ・ プログラミング的思考を学ぶ研修モジュールの紹介と体験
- 11:50～13:00 昼休み（委員会・研究部会の会議）
- 13:00～13:50 招待講演1：折笠史典（文部科学省 初等中等教育局  
情報教育・外国語教育課情報教育振興室 室長）  
「教育の情報化の最新動向と今後の展望」
- 13:50～14:40 招待講演2：鹿野利春（国立教育政策研究所 教育課程研究センター  
研究開発部 教育課程調査官）  
「情報Ⅰ，情報Ⅱの実施に向けて」
- 14:50～16:45 パネルディスカッション  
「プログラミング教育の“横のつながり”  
～学校教育機関-民間企業-教育研究機関～」  
コーディネーター：森本康彦（東京学芸大学 教授）  
パネリスト：・尾崎拓郎（大阪教育大学 講師）  
・小澤慶太郎（株式会社イーケイジャパン  
代表取締役社長）  
・中村俊介（株式会社しくみデザイン 代表取締役）  
・山下裕司（山口県立岩国高等学校 教諭）
- 16:45～17:00 クロージング

## 報告 総会及び活動報告

日本情報科教育学会の総会は、毎年1回、全国大会の際に開催されます。今年は、2019年7月20日（土）、北九州市立大学にて行われました。総会では、前年度の事業報告及び収支決算、役員（会長、副会長、監事、理事、評議員）、今年度の事業計画及び収支予算などについて審議が行われました。

なお、事業報告・事業計画については、次の活動について審議されました。

### （1）総会及び役員会

- ・総会、理事会（年4回）及び評議員会（年2回）の活動

### （2）委員会活動

- ・研究、学会誌編集、全国大会企画、情報学教育カリキュラム検討、教材研究・教育実践、教員養成・研修、広報、表彰、学会企画・連携の各委員会活動

### （3）全国大会、フォーラム、研究会などの活動

### （4）支部活動

- ・関東・東北、東海・中部、近畿・北陸、九州・四国・中国の4支部の活動

### （5）刊行物

- ・学会誌、全国大会論文集、ニューズレターなどの刊行物

### （6）共催、協賛、後援等

学会Webページには、総会や研究会など開催する行事の案内や情報が掲載されています。

また、委員会や支部については、Webページの委員会、支部の箇所に、役員名簿とともに活動の概要が掲載されています。学会誌の目次、研究会報告書についても、Webページに掲載されています。是非ご覧ください。

## 告知 研究会・各支部

### 研究会

○第13回研究会（研究委員会 東海・中部支部共催）

日時：令和元年11月2日（土） 13：00～17：00

会場：静岡県産業経済会館 第1会議室 第2会議室 <http://www.sankei-kaikan.jp/>

### 近畿・北陸支部から

○共催 日本情報科教育学会 近畿・北陸支部（ほか数団体）

第15回情報教育合同研究会

日時：令和元年11月16日（土）

会場：園田学園女子大学 30周年記念館 4階情報教育センター

○日本情報科教育学会 近畿・北陸支部 拡大理事会

日時：令和元年11月16日（土） 12：00～13：00

会場：園田学園女子大学 30周年記念館 3階 特別会議室

## 事務局からの連絡

### 事務局からの連絡

- ・所属等の変更のある方は、至急、ご連絡ください。
- ・会費未納の方は、会費の納入をお願いします。年会費が未納の場合、学会誌に投稿できない、学会誌が送られない、また、全国大会や研究会（研究委員会主催）での発表ができないなどの措置がとられます。

金額等については、下記でご確認ください。

<http://jaeis.org/nyukai/>

### 会費振込口座

【金融機関名】 ゆうちょ銀行

【口座種別】 振替口座

【口座番号】 00190-1-317944

【加入者名】 日本情報科教育学会（ニホンジョウホウカキョウイクガクカイ）

【金融機関名】 三井住友銀行 高田馬場支店(273)

【口座種別】 普通預金口座

【口座番号】 4435574

【口座名義】 日本情報科教育学会（ニホンジョウホウカキョウイクガクカイ）

※ 振り込み手数料につきましては大変恐縮ではございますが、各自ご負担戴きます様  
お願い申し上げます。

日本情報科教育学会ニューズレター No. 30 2019年9月26日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町2-323 埼玉県立大宮高等学校

E-mail [jaeis-jimu@jaeis.org](mailto:jaeis-jimu@jaeis.org)

### 発行責任者 広報委員会

委員長：高橋 等（静岡産業大学） 副委員長：坂田 圭司（東海大学）

委員：笈 捷彦（NPO法人情報オリンピック日本委員会理事長） 永田 奈央美（静岡産業大学）

青山 貴史（福岡県立新宮高等学校） 後藤 隆彰（東洋大学）

齋藤 ひとみ（愛知教育大学） 尋木 信一（有明工業高等専門学校） 池田 勇（植木保育園）